SEBANG GLOBAL BATTERY CO.,LTD.

取扱説明書

G&Yu® BATTERY・QUiCK START

この度は、〈G&Yu〉〈QUICKSTART〉バッテリーをお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
長期間ご使用いただくために、この取扱説明書をご一読ください。
アフターサービスのためにもお手元に保存しておいてください。

1.安全など特に大切な注意事項

●表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。
⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。
⚠注意	人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

（下記は絵表示の一例です）

⊘	禁止の行為を告げる絵表示です。
⚠	「危険」「警告」「注意」を促す内容があることを告げる絵表示です。
❗	行為を強制したり、指示したりする内容を告げる絵表示です。

ブースターケーブルの接続

ブースターケーブル
⊖④ ⊕① ③⊖ ②⊕
自車（バッテリーあがり車）
④はバッテリーから離したエンジン本体のボルト等に接続
他車（救援車）

※ブースと機能付き充電器の使用によるエンジン始動の場合は、充電器の取扱説明書に従い正しい手順で行ってください。

- バッテリー内の電解液は希硫酸です。取扱いには充分ご注意ください。もし、電解液が皮膚や衣類についた場合には速やかに水でよく洗い落としてください。万一、電解液が目に入った場合は多量の水でよく洗い、速やかに医師の治療を受けてください。（小児には触れさせないでください。）
- バッテリーからは水素ガスが発生しますので火気を近づけたり、スパークをとばしたりしないようにご注意ください。（爆発することがあります。）
- バッテリーの上面は、常に清潔に保ち、液口栓の排気孔がつまらないようにご注意ください。排気孔がつまると充電中の発生ガスにより、内圧が上がり、電槽やフタを破損させる恐れがあります。
- ブースターケーブルによるエンジン始動はできるだけ避けてください。万一、必要な場合はスパークによる引火爆発を防ぐため正しい順序で接続してください。（接続は①→④の順、取り外しは④→①の順。ブースターケーブルの接続図参照。）
- バッテリーは自動車の使用条件に合うように設計されております。自動車以外の電源として使用する場合には、このバッテリーの機能が充分発揮できない場合がありますので、ご注意ください。
- 使用済バッテリーでもエネルギーが残っています。スパーク・ショート及び破損による電解液の流出等には充分ご注意ください。
- 使用済バッテリーの処理については、バッテリー購入の販売店などに、ご相談ください。
- MF、PRO、サイクルシリーズの場合電解液面が最低液面線(LOWER LEVEL)以下で使用しないで下さい。寿命の低下と爆発の恐れがあります。

2.ご使用の前に

(1)使用開始
- 液入り充電済タイプですので、そのままご使用いただけます。（インジケータが要充電表示となっている場合や比重が1.24（20℃）以下の場合は6の補充電要項に従って補充電を行ってからご使用下さい）
  ※NEXT・SMFは比重計測出来ません。

(2)バッテリーの用途
- 本バッテリーの用途はエンジン始動用（SMF27・31MSは除く）です。始動用以外の用途（電源・溶接機など）には使用しないでください。
- トラック・営業車など業務用での用途には必ずPROシリーズをご使用ください。MF・SMF・NEXTシリーズをご使用の場合は補償対象外になる場合があります。

(3)保管について
雨露、粉塵、直射日光、高温多湿を受けることがない、風通しのよい場所に保管して、横倒しや落下しやすい場所は避けて下さい。こどもがふれることのない場所に保管してください。保管中は未使用でも自然に放電しますので速やかにご使用を開始してください。

3.バッテリーの交換手順

バッテリー交換時にバックアップが必要かどうかを車両の取扱説明書にて事前に確認してください。

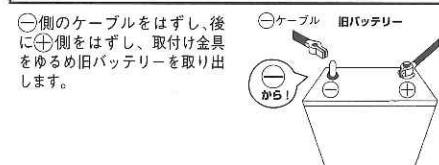
旧バッテリーの取りはずし順序

⊖側のケーブルをはずし、後に⊕側をはずし、取付け金具をゆるめ旧バッテリーを取り出します。

新バッテリーの取付け順序

新バッテリーを取付け台にセット後、取付け金具をしっかりと締めつけて下さい。
ケーブルの取付けは⊕側を必ず先に行ってください。

ケーブルと取付け金具

バッテリーは、振動などで動かないように取付け台に、しっかりと固定してください。

●ワンポイントアドバイス
- バッテリーを交換する際は車輌のエンジンを止めキーを抜いて下さい。
- メモリー機能のある電子機器が装備されている車輌はメモリーが消えることがありますので交換前に車輌の取扱説明書をよく読んで下さい。
- 交換時、新・旧バッテリーの⊕⊖の極性が同一であることを確認してください。バッテリー端子への接続は⊕⊖の極性を間違えないよう特に注意し、確実に締めつけてください。（誤って接続すると車の電気回路を損傷することがあります。また、締めつけが不完全な場合にはエンジン始動が出来なかったり、バッテリーの充電不足の原因になります。また、接触不良によるスパーク発生の因となり、重大事故の原因となることがあります。）
- 取付け金具は走行中の振動でバッテリーが動かぬよう、しっかりと固定してください。
- 装着、接続が完了したら、必ずエンジンを始動させ性能を確認してください。始動が不十分の場合は補充電をしてください。
- 交換時、腐食防止のためターミナルをブラシで磨き、その後グリスを塗布する事をお薦めいたします。

『リサイクルの推進にご協力をお願いいたします』

ご不要になった使用済みバッテリーは放置したり、一般ゴミと一緒に捨てないで下さい。新しいバッテリーをご購入の販売店に引き取りをご依頼ください。

4.インジケーターの見方

インジケータの表示によりバッテリーの状態がチェックできます(PROシリーズを除く)。
※インジケータは特定のセルを表示しており全セルの確認は出来ません。状態につきましては「目安」としての認識でお願いします。

良　好：バッテリー液比重および液量ともに良好です。そのままご使用ください。
要充電：バッテリー液比重が低下しています。「6.補充電について」の項を参照のうえ、充電を行ってください。
液不足：バッテリー液量が低下しています。
　　　MFシリーズ→アッパーレベルまで精製水を補水してください。
　　　NEXT・SMFタイプ→速やかに交換してください。

インジケーターの表示

※ガスの発生により満充電時にも要充電と表示される場合があります。

5.バッテリーの保守・点検

•1ヶ月に1度は液量、割れもれがないか点検を行い異常があった場合は原因を取り除いてバッテリーを交換して下さい。
•インジケーターで液不足のサインが出た時は、UPPERラインを限度に精製水を補給してください。(MFシリーズ)
•NEXT・SMFシリーズについては、精製水の補充は必要ありません。
•PROシリーズはLOWER LEVEL以下になった場合は速やかに補水を行ってください。内部の劣化と爆発の原因となります。
　※アッパーレベルがないものは液口内にあるスリーブに達するまで補水して下さい。

□バッテリーの清掃
•水を含んだ布で清掃してください。
•ベンジン・シンナー・ガソリンなどの有機溶剤、洗剤、化学ぞうきんを使用しないでください。

□取付金具・ケーブル端子の取り付けの点検
•バッテリー取付金具、ケーブル端子に緩みがないか確認してください。緩んでいる場合はナットを締めて確実に固定してください。

【SMF27MS-730・SMF31MS-850】
•ご使用後は速やかに充電を行ってください。
•深放電(電池容量の80%以上)及び過充電・充電不足を繰り返すと極板が劣化して短寿命となります。

6.補充電について

•充電器で充電を行う場合はバッテリーを車両からバッテリーを取り外してください。その後充電器添付の取扱説明書に従い正しい手順で行ってください。
•充電時は液口栓は取り外し充電後は確実に取り付けて下さい。
•補充電を行う場合は、火気のない風通しの良いところで行ってください。
•充電中はバッテリーの温度が50℃以上にならないように注意してください。
•バッテリー要項表の補充電電流に従い下記充電時間の目安を参考に行ってください。
•PROシリーズはインジケーターが付いていませんので比重計を用いて充電状態をご確認ください。
•満充電の比重は1.280(20℃)です。ただしPRO-D26・31、TAXI-D26は1.260(20℃)となっています。
•充電直後は水素ガスがバッテリー内に滞留していますので特に注意してください。

端子電圧	充電状態	充電時間の目安	端子電圧	充電状態	充電時間の目安
～12.5	～75%	0～4時間	12.2～11.9	50～25%	8～12時間
12.5～12.2	75～50%	4～8時間	11.9～	25～0%	12～20時間

※上記数値は目安でありバッテリーの使用状況、充電器の種類、周囲温度によって多少変化します。状況により充電量、時間を増減してください(ご不明な点はご購入店または弊社までご相談ください)。
※SMF27MS・31MSは除きます。

【SMF27MS-730・SMF31MS-850】
•深放電をした場合において、オートストップ機能が付いた充電器では1回の充電で満充電にならない場合がありますのでご注意下さい。その場合は間隔をおいて再度充電を行ってください。またインジケーターが緑の場合でも満充電に達していない場合があります。
•充電器に切り替えスイッチがあればカルシウムモード(設定電圧が高いほう)にての充電を行ってください。

7.バッテリー要項表

MFシリーズ			SMFシリーズ			NEXTシリーズ		
形式(12V)	5HR率容量	充電電流	形式(12V)	5HR率容量	充電電流	形式(12V)	5HR率容量	充電電流
40B19R(L)	28	3	SMF46B19R(L)	33	4	NX55B19R(L)	34	4
55B24R(L)	36	4	SMF65B24R(L)	46	5	NX75B24R(L)	48	5
60D20L	40	4	SMF85D23R(L)	56	6	NX95D23R(L)	56	6
80D23(R)	52	6	SMF95D26R(L)	66	7	NX115D26R(L)	68	7
75D26R	54	6	SMF120D31R(L)	75	8	NX130D31R(L)	76	8
85D26R(L)	56	6	マリンレジャーシリーズ					
95D31R	64	7	形式(12V)	20HR率容量	充電電流	形式(12V)	20HR率容量	充電電流
115D31R(L)	72	8	SMF31-870	100	8	SMF27MS-730	105	10
			(スターティング用)			SMF31MS-850	115	12
						(サイクル用)		

PRO・TAXIシリーズ								
形式(12V)	5HR率容量	充電電流	形式(12V)	5HR率容量	充電電流	形式(12V)	5HR率容量	充電電流
30A19R(L)	21	3	130F51	98	10	TAXI-D26R(L)	52	6
32A19R(L)	24	3	170F51	120	12	SMF-TAXI D26R(L)	56	6
110E41R	83	9	155G51	120	12	PRO-D26R(L)	56	6
120E41R	88	9	195G51	140	14	PRO-D31R(L)	68	7
130E41R(L)	92	10	210H52	160	16			
			245H52	176	18			

輸入車シリーズ								
形式(12V)	20HR率容量	充電電流	形式(12V)	20HR率容量	充電電流	形式(12V)	20HR率容量	充電電流
SMF54459	44	4	SMF57113	71	6	SMF58-530	60	5
SMF56219	62	5	SMF57220	72	6	SMF65-660	80	6
SMF56220	62	5	SMF58013	80	7	SMF75-660	60	5
			SMF60044	100	9	SMF78-780	76	6

8.故障かなと思ったら…

•エンジンがかからない
　→バッテリーが"あがった"(放電)状態となっている可能性があります。「6.補充電について」の項を参考に充電を行ってください。
　　自動車にはエンジン停止中にもコンピューター・セキュリティー等の消費電流(暗電流)が流れています。車両にもよりますが約1ヶ月前後で放電状態になりエンジン始動が出来なくなる場合があります(補償適用外)。
　※補充電を行ってもエンジンが始動しない場合はご購入店にご相談ください。
•バッテリーテスターで検査すると注意・異常と判定される
　→環境・走行状況などにより一時的に放電気味になり、テスターの結果が注意などになる場合があります。補充電にて回復するものには補償対象外となります。

9.補償について

•本補償書に、お買上げ店名、印、年月日など太線枠内が記入されているかお確かめ下さい。太線枠内が未記入ですと補償対象外となりますのでご注意ください。
　ご購入店以外での補償は出来ませんのでご注意ください。